

(別表)

科目	区分	内容	到達目標	時間数
保育の表現 技術 (音楽表現)	演習	① こどもの発達と音楽表現に関する知識と技術 ② 身近な自然やものの音や音色、人の声や音楽等に親しむ経験と保育の環境 ③ こどもの経験や様々な表現活動と音楽表現とを結びつける遊びの展開	① 保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらい及び内容について理解している。 ② 乳幼児期の発達過程を踏まえた上で、音を介したこどもの表現に適した多様な素材・教材、その活用方法について実践的に理解している。 ③ こどもの表現意欲を支える環境を構成し、展開するための技術について実践的に理解するとともに、具体的な保育を構想できる。	6
保育の表現 技術 (造形表現)	演習	① こどもの発達と造形表現に関する知識と技術 ② 身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験と保育の環境 ③ こどもの経験や様々な表現活動と造形表現とを結びつける遊びの展開	① 保育所保育指針等に示された領域「表現」のねらい及び内容について理解している。 ② 乳幼児期の発達過程を踏まえた上で、こどもの造形表現に適した多様な素材・教材、その活用方法について実践的に理解している。 ③ こどもの表現意欲を支える環境を構成し、展開するための技術について実践的に理解するとともに、具体的な保育を構想できる。	6
保育の表現 技術 (言語表現)	演習	① こどもの発達と絵本、紙芝居、劇（人形劇含む）、ストーリーテリング等に関する知識と技術 ② こども自らが児童文化財等に親しむ経験と保育の環境	① 保育所保育指針等に示された領域「言葉」、「表現」のねらい及び内容について理解している。 ② 乳幼児期の発達過程を踏まえた上で、こどもの言葉の育ちを支える児童文化財についての知識や活用方法について実践的に理解してい	6

		③ こどもの経験や様々な表現活動と児童文化財等とを結びつける遊びの展開	る。 ③ こどもの表現意欲を支える環境を構成し、展開するための技術について実践的に理解するとともに、具体的な保育を構想できる。	
保育実践見学 実習 (事前指導)	講義	① 保育実践見学実習の目的と配慮事項	① 保育実践見学実習の意義・目的を理解する。 ② 実習施設におけるこどもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。	1
保育実践見学 実習	実習	① 保育現場の理解 ・ 保育所（又は児童福祉施設）の生活と一日の流れ ・ こどもの観察とその記録 ・ こどもへの援助や関わり ・ 保育計画やこどもの発達過程に応じた保育内容 ・ こどもの生活や遊びと保育環境 ・ こどもの健康と安全 ② 専門職としての地域限定保育士の役割と職業倫理 ・ 地域限定保育士の業務内容 ・ 職員間の役割分担や連携 ・ 地域限定保育士の役割と職業倫理 ③ 保育現場における保育の表現技術の実際 ・ 保育における保育表現技術の実際 ・ 状況に応じた保育表現	① 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 ② 観察やこどもとの関わりを通してこどもへの理解を深める。 ③ 地域限定保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。 ④ 地域限定保育士試験（筆記試験）及び保育実技講習会の内容を踏まえ、こどもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。	6

保育実践見学 実習 (事後指導)	演習	① 保育実践見学実習の総括と自己評価 ② 課題の明確化	① 保育実践見学実習の総括と自己評価を行う。 ② 地域限定保育士試験（筆記試験）及び保育実技講習会の全体を通して、自らの学びを振り返り、自己の課題を明確化する。	2
合計				27